



## 丹波市制 10周年を PRする キャッチフレーズを 募集します

来年11月1日に、丹波市が市制10周年を迎えるにあたり、平成26年度には、記念事業を実施します。  
市制10周年を多くの方に知ってもらえるように、心に響く「キャッチフレーズ」を募集します。

**テーマ** 丹波市の「魅力」「一体感」「未来」などをイメージできるフレーズ

※1人2点まで。  
※おおむね20文字以内。漢字、ひらがな、カタカナ、アルファベットの使用可。

- ▶応募資格 / 市内在住または在勤、在学の方
- ▶応募方法 / 所定の応募用紙または任意の用紙に  
①作品及びその説明②氏名③年齢④住所⑤勤務先または学校名（市内在住でない方のみ記入）⑥電話番号⑦メールアドレス※応募用紙は、市役所市民課、各支所に備え付けています。また、市ホームページからもダウンロードできます。
- ▶応募期間 / 平成25年11月20日（水）～平成26年1月6日（月）※郵送の場合は、1月6日消印有効。
- ▶応募先 / 総合政策課へ持参または郵送、Eメールで応募
- ▶賞 / ★最優秀作品（採用作品） 1点（副賞：共通商品券2万円分）  
★優秀作品 2点（副賞：たんば共通商品券5,000円分）  
★参加賞 応募者から抽選で10人にたんば共通商品券2,000円分

●応募・問い合わせ先  
総合政策課（氷上庁舎内） ☎82-0916  
〒669-3692 丹波市氷上町成松字甲賀1番地  
Eメール sougouseisaku@city.tamba.hyogo.jp

## デマンド（予約）型乗合タクシー利用者 丹波市人口 68,415 人を達成

平成23年2月に運行を開始したデマンド（予約）型乗合タクシーの利用者数が、10月25日（金）に、市の人口（9月末住基人口）と同数の68,415人に達しました。  
記念すべき68,415人目の利用者には、記念品が贈られ、達成を喜びました。



68,415人目の利用者となった神崎みき子さん（山南地域・写真左）と707回の最多利用者の足立きく乃さん（青垣地域・写真右）

## 秋の丹波路を駆け抜ける 兵庫・丹波もみじマラソン大会

「第36回兵庫・丹波もみじの里ハーフマラソン大会」が、11月10日（日）、グリーンベル青垣周辺をコースに開催されました。  
今年は、2,420人のランナーがエントリー。参加者たちは、沿道の声援を受けながら、色づきはじめたコースを駆け抜けました。



元気よくスタートを切る参加者たち

## 元宿場町・佐治を駆け抜ける！ 「丹波八宿青垣の秋」宿場町飛脚リレー

11月3日（日）、青垣町佐治の商店街で「丹波八宿青垣の秋」が開催されました。恒例の「宿場町飛脚リレー」には、12チームが参加し、元気よくまちを駆け抜けました。  
コースには、「関所」が設けられ、くじやダーツで走るコースの長さが決まります。足の速さだけではなく、「運」が勝負のカギを握るこのレース。参加者たちは、くじやダーツの結果に一喜一憂しながらも、楽しそうにそれぞれのコースに走り出していました。



手打ちそばの屋台。たくさんの人が手打ちのそばに舌鼓を打っていました



幅広い年齢の参加者が熱いレースを繰り広げました



①バトン代わりに「飛脚棒」をつなぎます  
②仮装でレースを盛り上げる参加者もいました

## 市島で自然を満喫！ 丹波オーガニックフェス 2013

11月2・3・4日に、三ツ塚史跡公園で、「丹波オーガニックフェス2013」が行われました。  
有機栽培の食材を使ったパンやクッキー、柿渋染をはじめとした草木染など、自然を体感することのできるさまざまなブースが出展されました。また、合鴨農法で活躍する鴨たちによるレースやステージでのパフォーマンスなども行われ、訪れた人々は、思い思いに自然とのふれあいを楽しんでいました。



①広場でのびのびとすごす参加者たち  
②洋服や有機栽培の食材を使った食べ物のブースが並びます  
③レースの出番を待つ鴨たち



写真は、左から司会の村上信夫さん、ゲストの益子直美さん、親野智可等さん

## 「ことば」から丹波の教育を考える 市民総がかりで進める丹波の教育フォーラム

10月26日（土）に、ライフピアいちじまで、「平成25年度市民総がかりで進める丹波の教育フォーラム」が行われました。  
「嬉しいことばが自分を変える」をテーマに、バレーボール元日本代表の益子直美さん、教育評論家の親野智可等さんをゲストに招き、トークセッションが行われました。参加者からは「子どもをほめることで、自己肯定感を育てることにつながることがわかった」などの感想が寄せられました。